

2020年9月12日「令和2年度 NVEC 男女共同参画推進フォーラム」のオンラインワークショップで、日本 BPW 連合会は「ユースが語るジェンダー平等の壁『・・・らしさ』とは」を開催し、トークセッション及びグループセッションを通じて解決策と行動案を共有し、スピーカー及びファシリテーターを務めた担当メンバーが行動宣言をまとめました。

## 私たちの行動宣言

私はすべての個人の権利が尊重されるために、性的同意について教育する機会を増やしていきます。性的同意は、自分と周りの人を尊重し健全な関係性を作る上で非常に大切な考え方です。大学だけでなく、中学や高校でも学ぶ機会が増えるような取り組みを行っていきます。

私は「〇〇らしさ」や「こうであるべき」という言葉で、自分を縛らずに、まずは自分に自信をつけていきます。そして、性別や世代などの差異に関わらず、周りの人とお互いを理解しあうコミュニケーションを重ねていきます。このような日常の小さな積み重ねで、アンコンシャス・バイアスの呪縛を解いていきます。

私は、自身の持っているアンコンシャス・バイアスに意識的になり、性に関係なく皆が生きやすい社会をともに作っていきます。そのために、自身・他者・関係性のケアの必要性を認識し、お互いを傷つけない方法で自身や他者の“弱さ”を出して補い合える関係性を作っていく、社会にも働きかけていきます。

(令和2年度 NVEC 男女共同参画推進フォーラム) 日本 BPW 連合会ユース企画担当一同

津久井瞳、横井桃子、西岡真由美